

TAYTWO



個人投資家向け説明会

# 株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2009年10月28日 代表取締役社長 大橋康宏



## 目次

---

**第1章 テイツーグループのご紹介**

**第2章 決算概要**

**第3章 今後の成長戦略**

**第4章 個人投資家の皆様へ**

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO., LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日(JASDAQ)
本社	岡山県岡山市今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1ダヴィンチ芝パークA館8F
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取、新刊書籍の販売及びビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト  古本市場 の運営
グループ会社	インターピア株式会社
従業員数	正社員472人、パート・アルバイト1,661人、計2,133人(2009年9月末現在)
資本金	1,165百万円(2009年8月末現在)
発行済株式数	551,400株:単元株制度なし(2009年9月末現在)
株主数	5,913名(2009年9月1日現在)

# テイツーグループの経営理念

## ■ 経営理念

「満足を創る」

## ■ スローガン

Customer Value Creation ～顧客価値の創造～

## ■ 行動指針

テイツーの七感

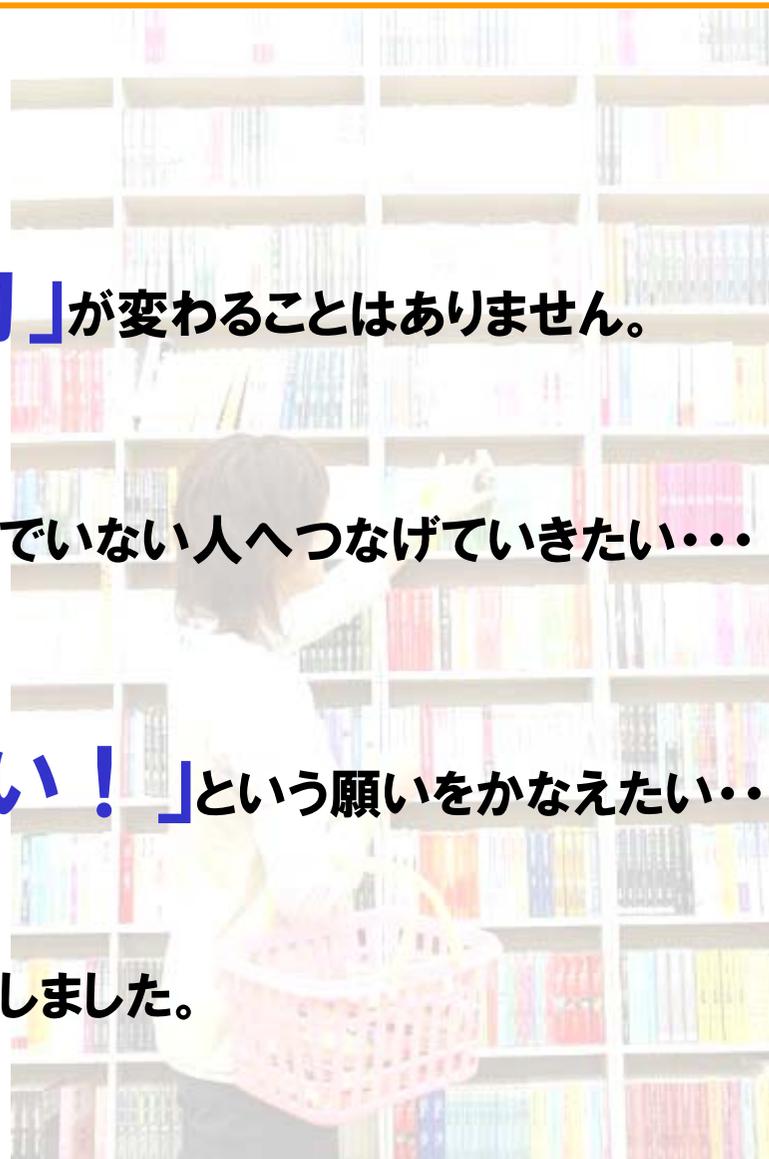
- 変化を観る「目」をもつ
- お客様の声を聴く「耳」をもつ
- 親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- 自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- 常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

… 本そのものは古くなっても、  
その内容が私たちに与えてくれる「感動」が変わることはありません。

読み終えた人の「感動」を、まだ読んでいない人へつなげていきたい…

「あの本にもう一度会いたい！」という願いをかなえたい…

そんな思いから ふるほんいちば  
**古本市場** は誕生しました。



ご家族で楽しめる

## 廉価な娯楽の提供

本・テレビゲーム・DVD・CDなどを1箇所でお買い上げいただける

## 楽しさと利便性の提供

最新作から旧作まで時間軸の広がりを楽しめる

## 奥行きのある品揃え



# テイツーグループにおける3つの事業

ふるほんいちば

## 古本市場事業

新品/リサイクル品の書籍・ゲーム・DVD・CDの販売・買取

ふるほんいちば

古本市場

## EC事業

書籍・ゲーム・DVD・CDのインターネットによる通信販売・買取

 古本市場

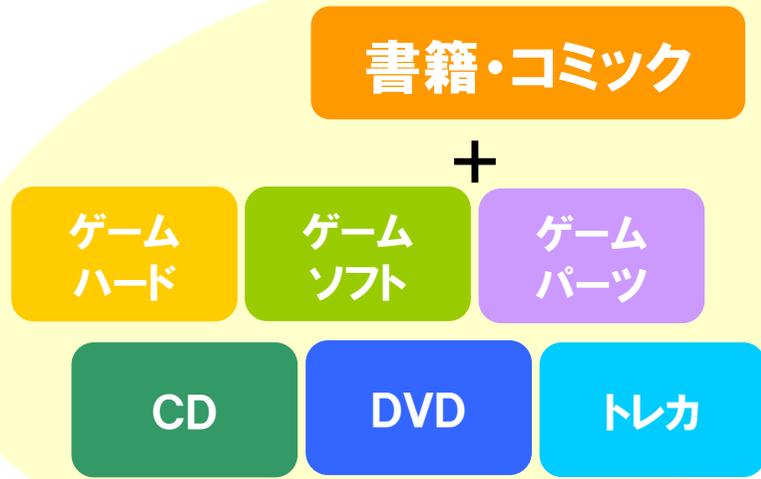
## アイ・カフェ事業

インターネット・コミック・カフェ

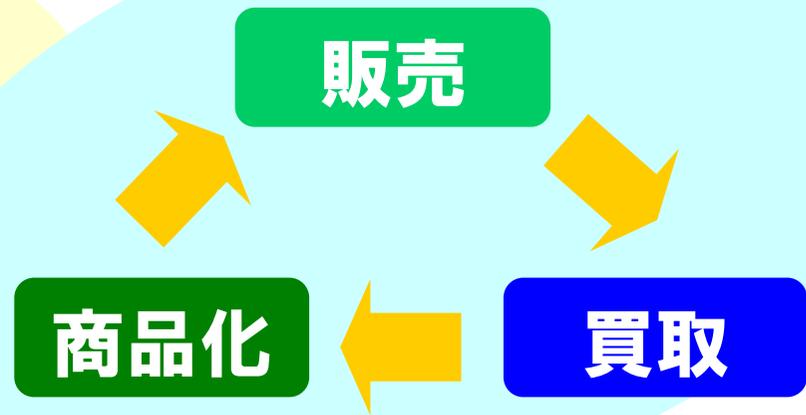


## 二つの複合化による顧客満足の実現

### 取扱商材の複合化



### 新品・リサイクル品の複合化



古本20万冊

ゲームソフト1.5万本DVD・CD1.5万枚



## 成熟市場における「勝ち組」であり続けるために

### ① 大型店舗による圧倒的な品揃え

- ・ 標準店舗は約200坪、駐車場完備
- ・ 古本20万冊、ゲームソフト1.5万本、DVD・CD1.5万枚

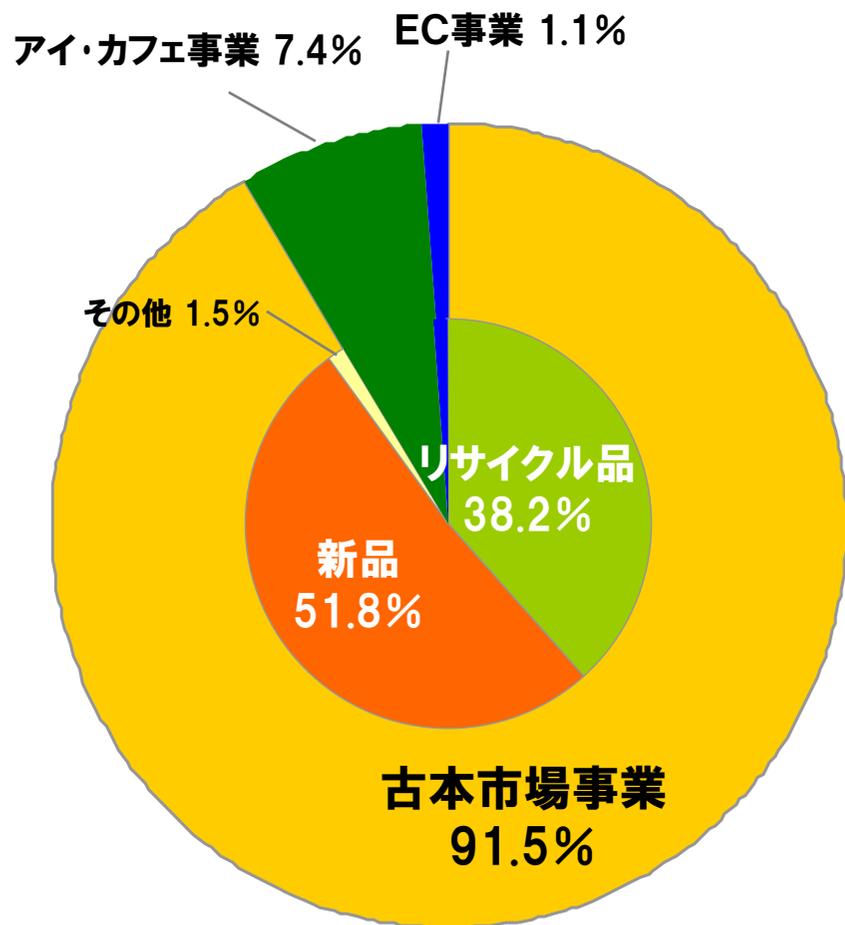
### ② 地域集中出店

- ・ 地域集中出店による、圧倒的な域内シェアの獲得

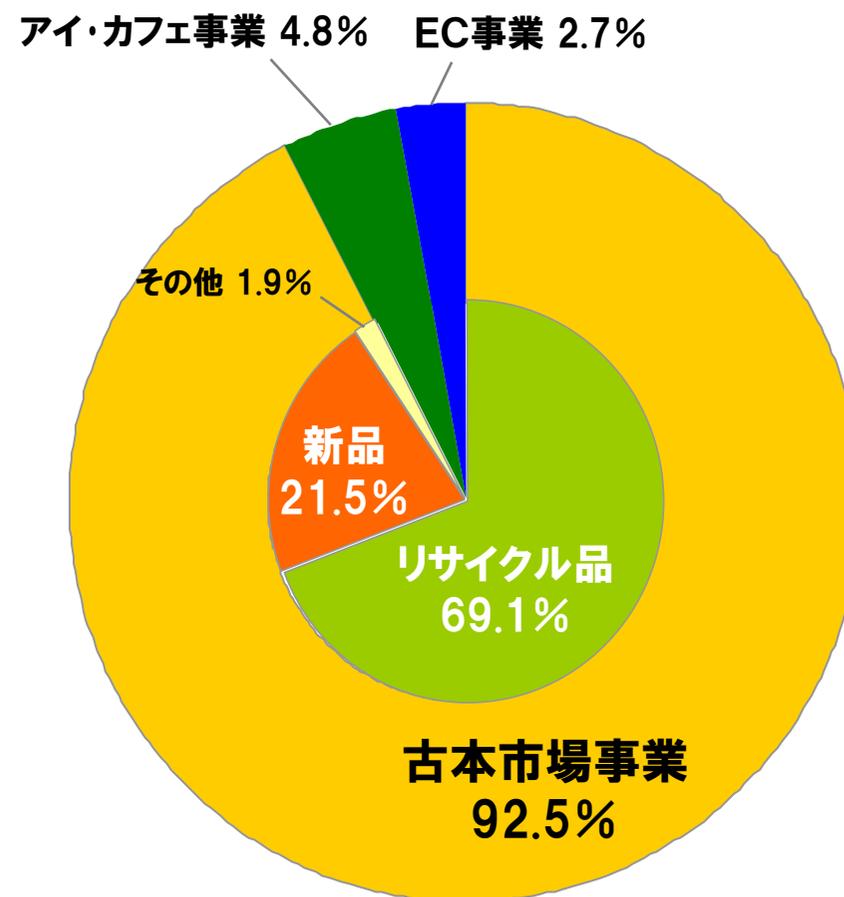
### ③ 第3次CRM(顧客情報)システム

- ・ 「ふる1カード」による顧客管理
- ・ ポイント付与によるリピート率の向上
- ・ オンライン、完全リアルタイム単品管理

## 売上高構成比



## 売上総利益構成比



# アイ・カフェってどんなところ？



株式会社ティーツ  
Tay-two Co.,Ltd.

～快適な時間と空間を選ばれたお客様に～

Comfortable Time and Space for the Selected Customer

直営店：17店、FC店：15店（2009年9月末現在）



# EC事業ってどんな中身？

## @古本市場サイト



URL : <http://www.furu1online.net>

実際の店舗と同じく、古本から新品/中古ゲーム・DVD・CDまで幅広い品揃え

- 会員数 **80万人**突破
- 古本引当在庫数 : **1,500万冊**
- 適切なSEO対策を実施し、ページ訪問数を増加

## 携帯電話からのサービスへの展開

### 携帯電話3社全てに事業展開

- NTTドコモ i-mode®
- ソフトバンク Softbank live!®
- au EZweb®



▲携帯電話版画面

## 目次

---

第1章 株式会社テイツーのご紹介

**第2章 決算概要**

第3章 今後の成長戦略

第4章 個人投資家の皆様へ

# 2010年2月期第2四半期 決算概要

(単位:百万円)

	2009年2月期 第2四半期	2010年2月期 第2四半期	
			前年同期比
売上高	19,755	19,047	▲3.6%
売上総利益	5,235	5,300	+1.2%
営業利益	483	656	+35.6%
経常利益	459	615	+33.7%
四半期純利益	91	253	+176.8%

## 個人消費低迷の中でも、前年同期比で増益

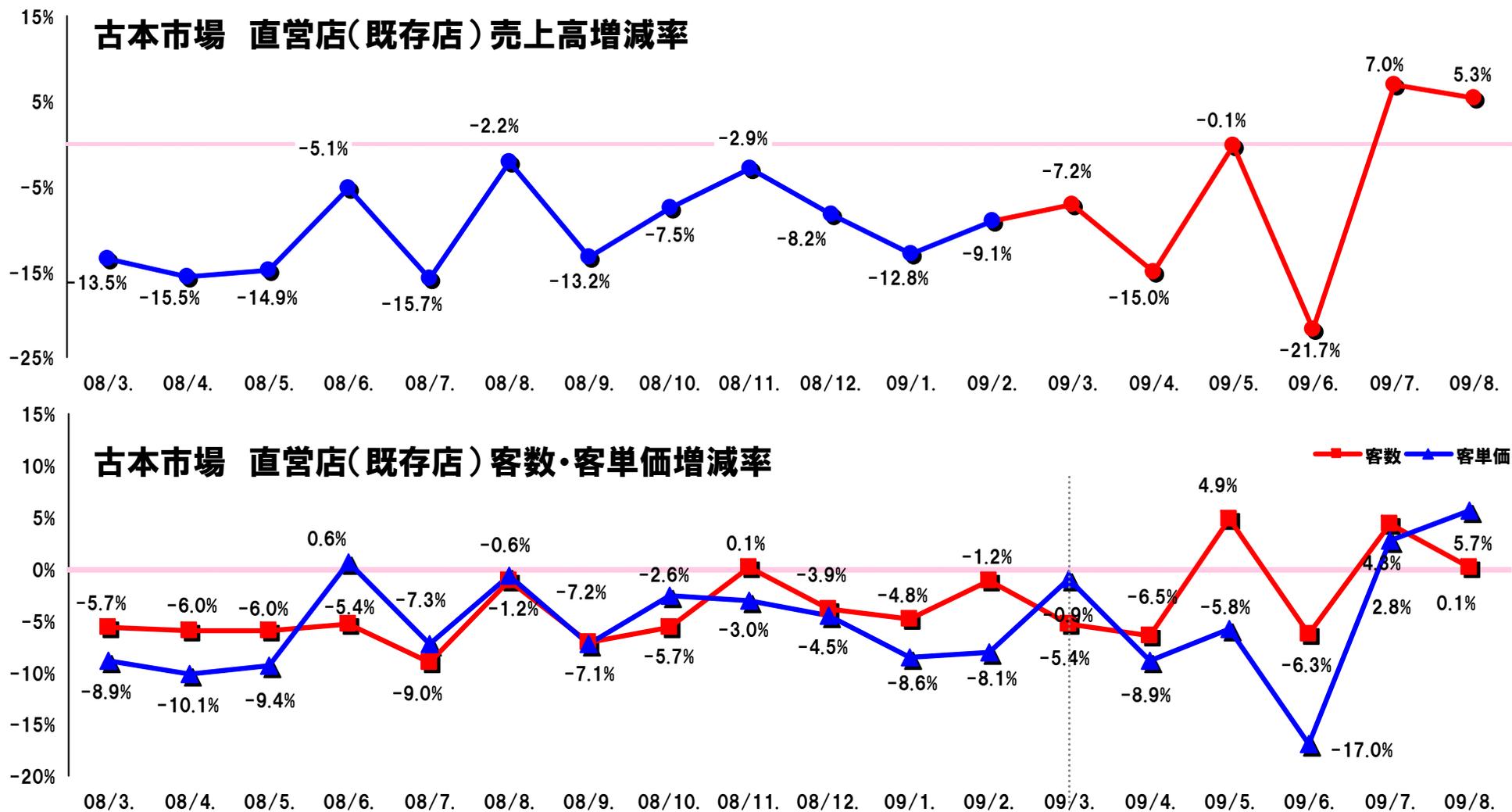
- ・ 古本市場事業 前年同期比減収となったものの、リサイクル品の売上高が堅調に推移したことによる粗利額の増加や各種費用削減により、営業利益は**増益**
- ・ アイ・カフェ事業 前年同期比減収となったものの、原価低減や本部経費の削減等により、営業損益は**黒字化**
- ・ EC事業 ユーブック会員数 **80万人突破** 売上高、利益の面では苦戦

# 2010年2月期第2四半期 セグメントの概要

(単位:百万円)

	2009年2月期 第2四半期		2010年2月期 第2四半期		
		構成比/営業利益率		構成比/営業利益率	増減率
<b>売上高</b>	<b>19,755</b>	<b>100.0%</b>	<b>19,047</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲3.6%</b>
古本市場事業	17,970	91.0%	17,434	91.5%	▲3.0%
アイ・カフェ事業	1,567	7.9%	1,407	7.4%	▲10.2%
EC事業	261	1.3%	234	1.2%	▲10.3%
消去	▲43	▲0.2%	▲29	▲0.1%	—
<b>営業利益</b>	<b>483</b>	<b>2.4%</b>	<b>656</b>	<b>3.4%</b>	<b>+35.6%</b>
古本市場事業	1,075	6.0%	1,106	6.3%	+2.8%
アイ・カフェ事業	▲58	▲3.7%	35	2.5%	—
EC事業	7	2.7%	▲13	▲5.8%	—
消去	▲540	—	▲471	—	—

個人消費低迷の影響下でも売上はほぼ計画通り推移、営業利益額・率は向上。



# 貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2009年2月期末		2009年8月期末		
		構成比		構成比	増減
流動資産	6,072	53.6%	6,113	52.5%	+41
固定資産	5,254	46.4%	5,534	47.5%	+280
資産合計	11,326	100.0%	11,648	100.0%	+321
流動負債	4,095	36.2%	4,364	37.4%	+269
固定負債	2,528	22.3%	2,394	20.6%	▲134
負債合計	6,623	58.5%	6,758	58.0%	+135
純資産合計	4,702	41.5%	4,889	42.0%	+186
負債純資産合計	11,326	100.0%	11,648	100.0%	+321

# キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	平成21年2月期 中間期	平成22年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲151	906
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲286	▲217
フリー・キャッシュ・フロー	▲437	689
財務活動によるキャッシュ・フロー	573	▲761
現金及び現金同等物の増減額	135	▲72
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,190	1,235

# 2010年2月期 通期計画

(単位:百万円)

	2009年2月期実績	2010年2月期 通期計画		
		9月16日修正予想	前期比	当初計画
売上高	41,593	41,600	0.0%	41,600
営業利益	895	1,090	121.7%	950
経常利益	845	1,020	120.7%	880
当期純利益	138	500	261.9%	400
連結EPS	274.66円	996.37円		782.34円

## 業績予想を上方修正 (2009年9月16日付)

売上高については、個人消費低迷の環境下においても、ほぼ計画通りに推移。

一方、利益率の高いリサイクル品の売上高が堅調に推移したことによる粗利額の増加や、広告宣伝費、人件費、賃料などの経費削減が順調に進み、営業利益・経常利益・四半期純利益は期初予想を大幅に上方修正。

## 目次

---

第1章 株式会社テイツーのご紹介

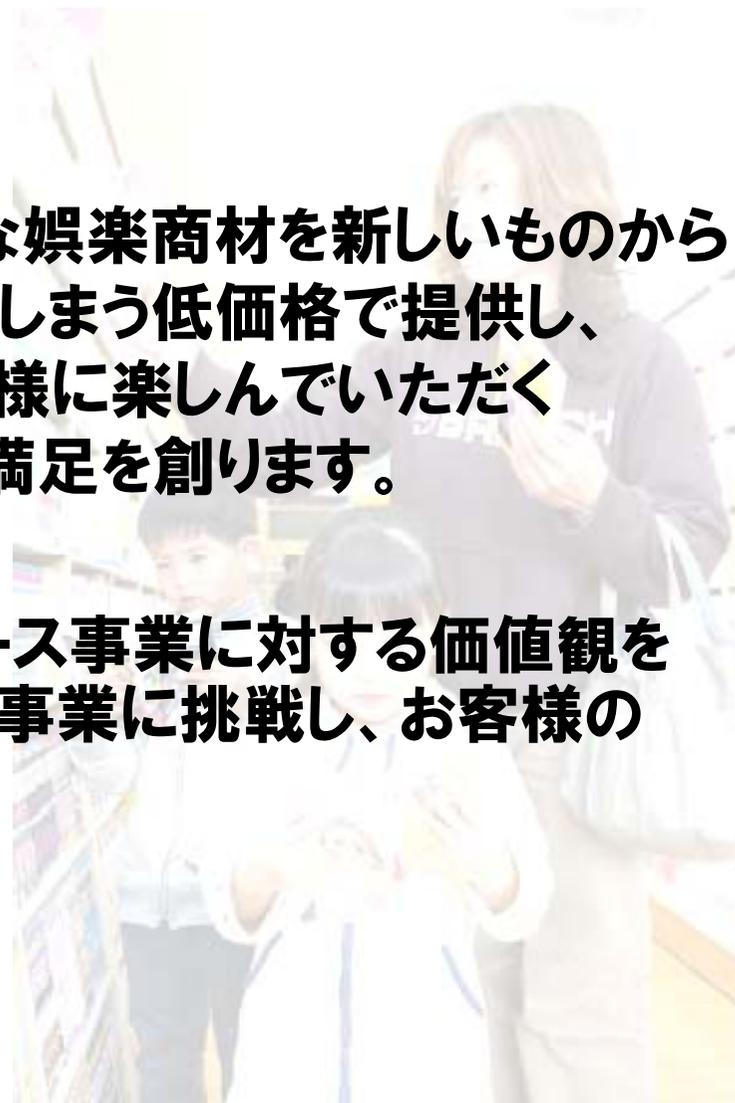
第2章 決算概要

**第3章 今後の成長戦略**

第4章 個人投資家の皆様へ

**本・テレビゲーム・DVD・CDなど多様な娯楽商材を新しいものから古いものまで幅広く、つつい手が出てしまう低価格で提供し、お子様からお年寄りまでたくさんのお客様に楽しんでいただく「場」と「顧客価値」を創造し、お客様の満足を創ります。**

**小売サービス業・娯楽関連事業・リユース事業に対する価値観を持った人材とノウハウを活用できる新規事業に挑戦し、お客様の満足を創ります。**



## 【ポジティブコア ～成長の源泉～】

テイツーグループが長期継続的に成長し、満足を創るための原動力

I. 常に最良の方法を追求する ～“カイゼン”と“革新”～

II. ベンチャースピリッツ ～“チャレンジ精神”を忘れない～

III. 倫理観 ～社会の要請にお応えする～



これからもテイツーは「成長」を目指します

## オンラインと店舗の融合

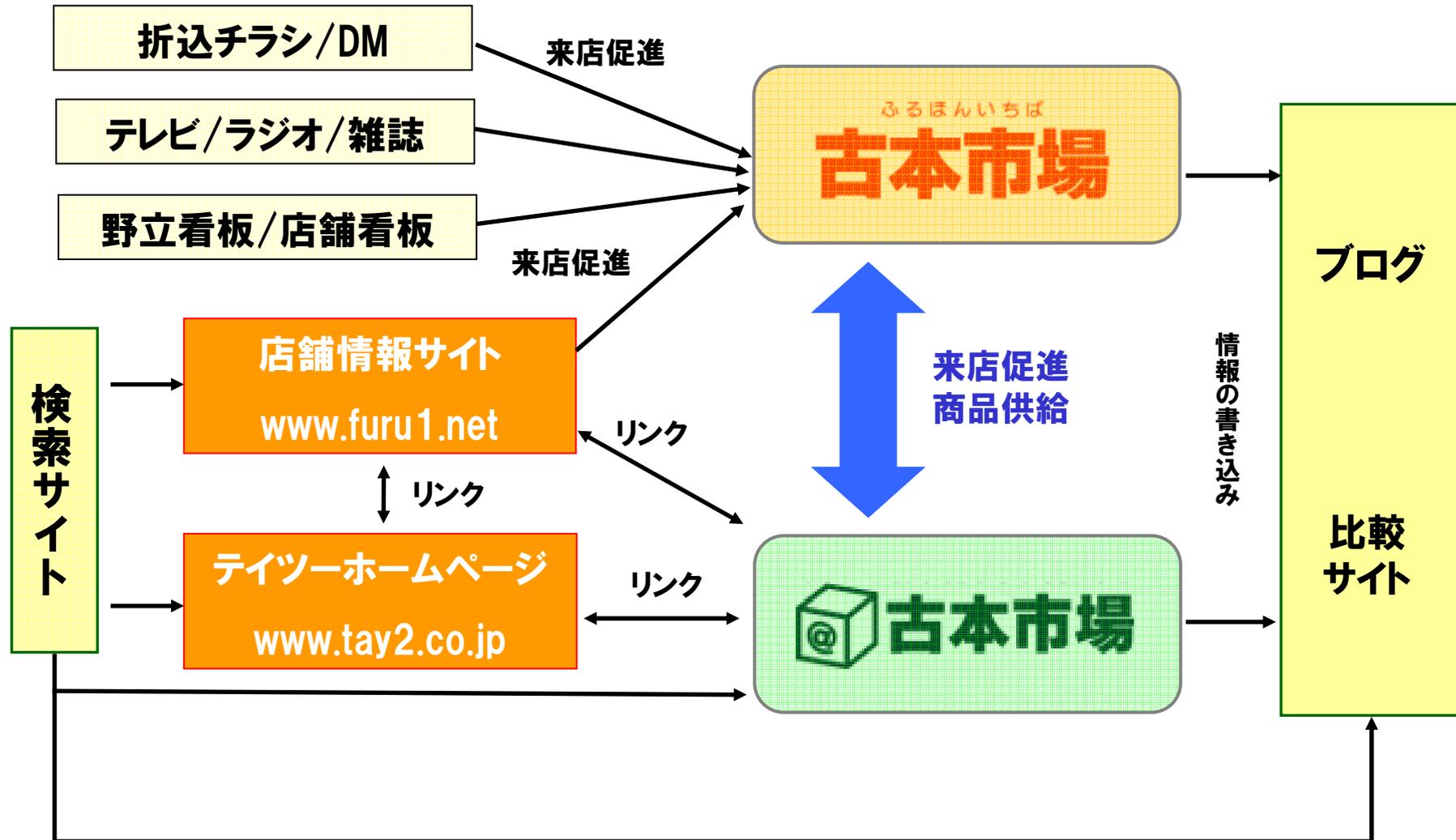
多様化したお客様の期待に添う顧客価値を創造し、お客様の『満足を創る』

オンラインと店舗の融合により、収益相乗効果を最大化

オンラインと店舗の経営資源を有効活用することで費用削減相乗効果を最大化

## テイツーグループの長期継続的な成長

# オンラインサイトと店舗の収益相乗効果



- ① 継続的な新規出店とドミナント強化
- ② 既存店の競争力向上
- ③ 新規業態の開発



古本市場(店舗事業)の安定的成長

- ① 品揃え、価格、サービスの最適化
- ② 合併による費用削減
- ③ 新商材・新サービスの導入



**古本市場(オンライン事業)の段階的成長**

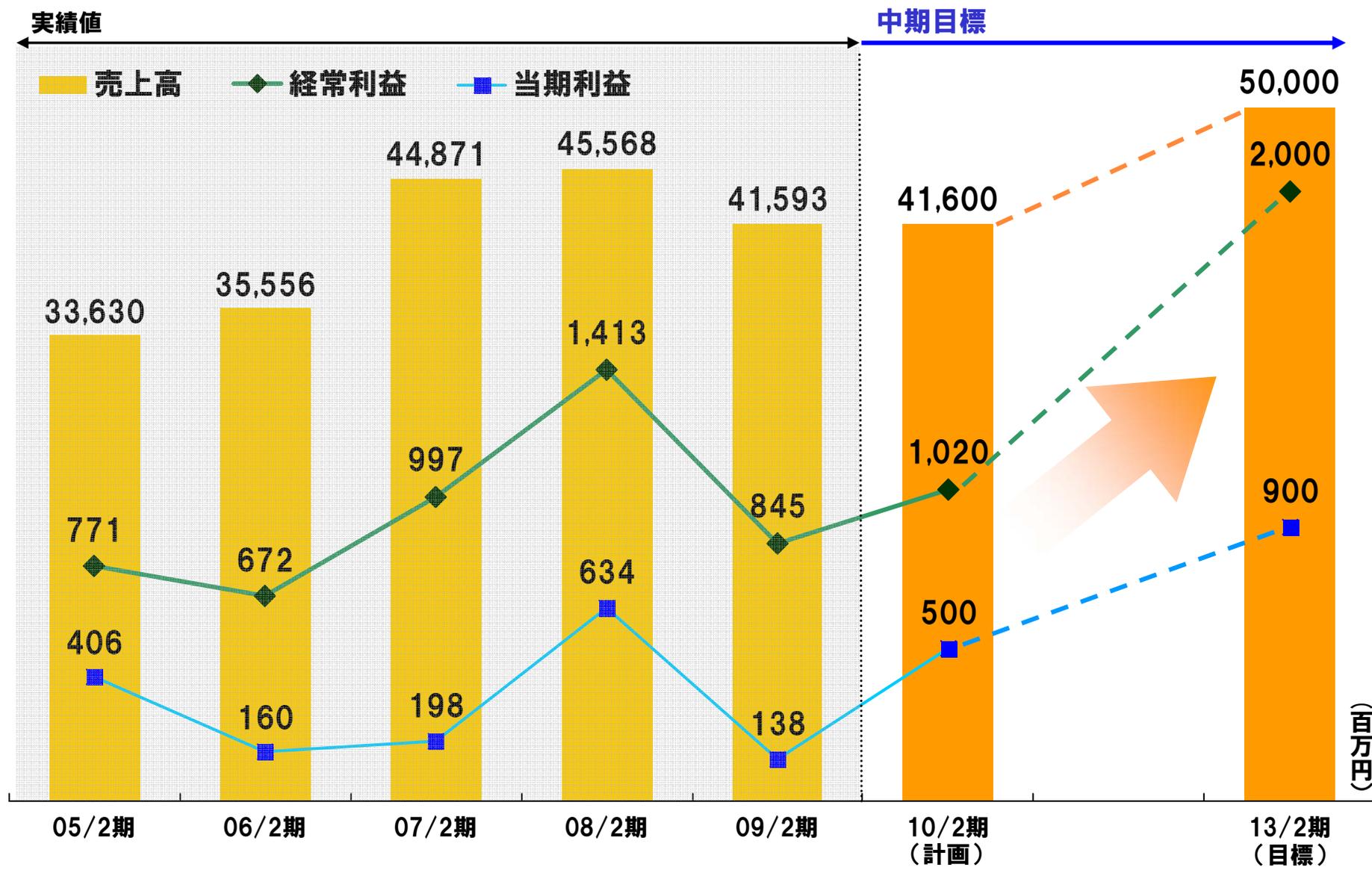
古本市場店舗事業と  
オンライン事業の融合

従業員の成長を促進する仕組み  
ビジネスを支えるインフラへの投資

従業員一人ひとりの成長

テイツーグループの長期継続的な成長

# 中期事業目標 (連結)



## 目次

---

第1章 株式会社テイツーのご紹介

第2章 決算概要

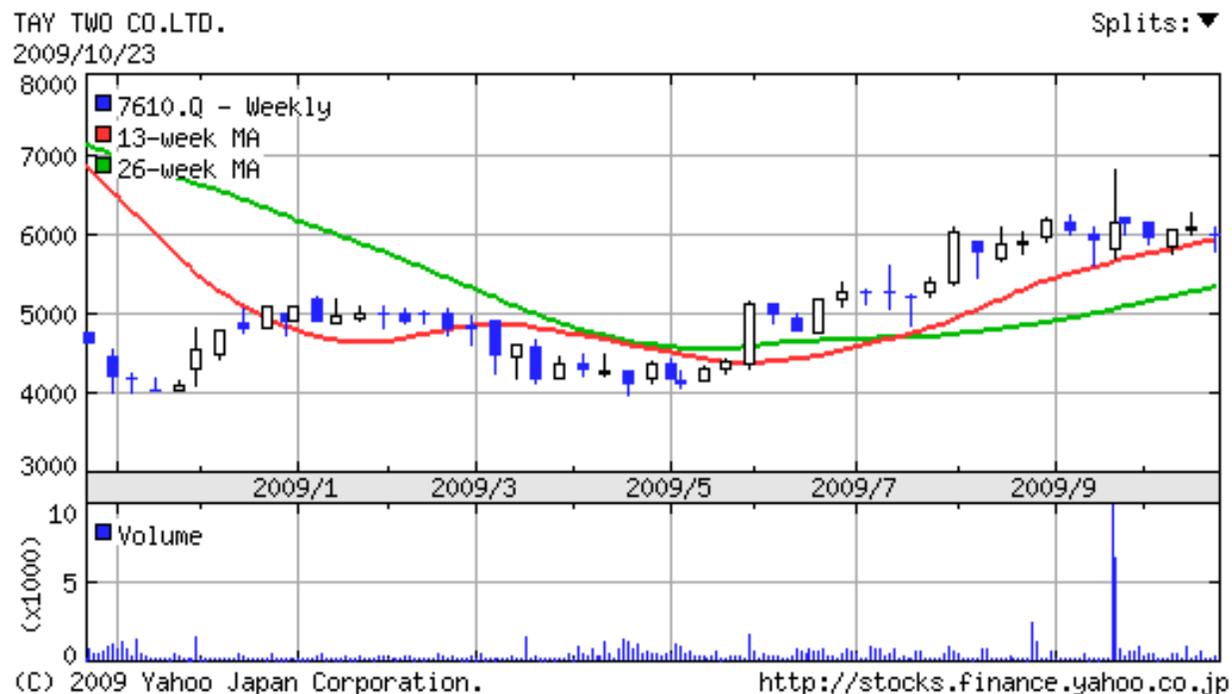
第3章 今後の成長戦略

第4章 個人投資家の皆様へ

# 株価と株式指標について

株価	一株当たり当期純利益 (EPS)	株価収益率 (PER)	株価純資産倍率 (PBR)
6,000円	996.3円	6.0倍	0.6倍

(2009年10月23日現在)



社名	株式会社テイツー
市場	JASDAQ
銘柄コード	7610

## 基本方針

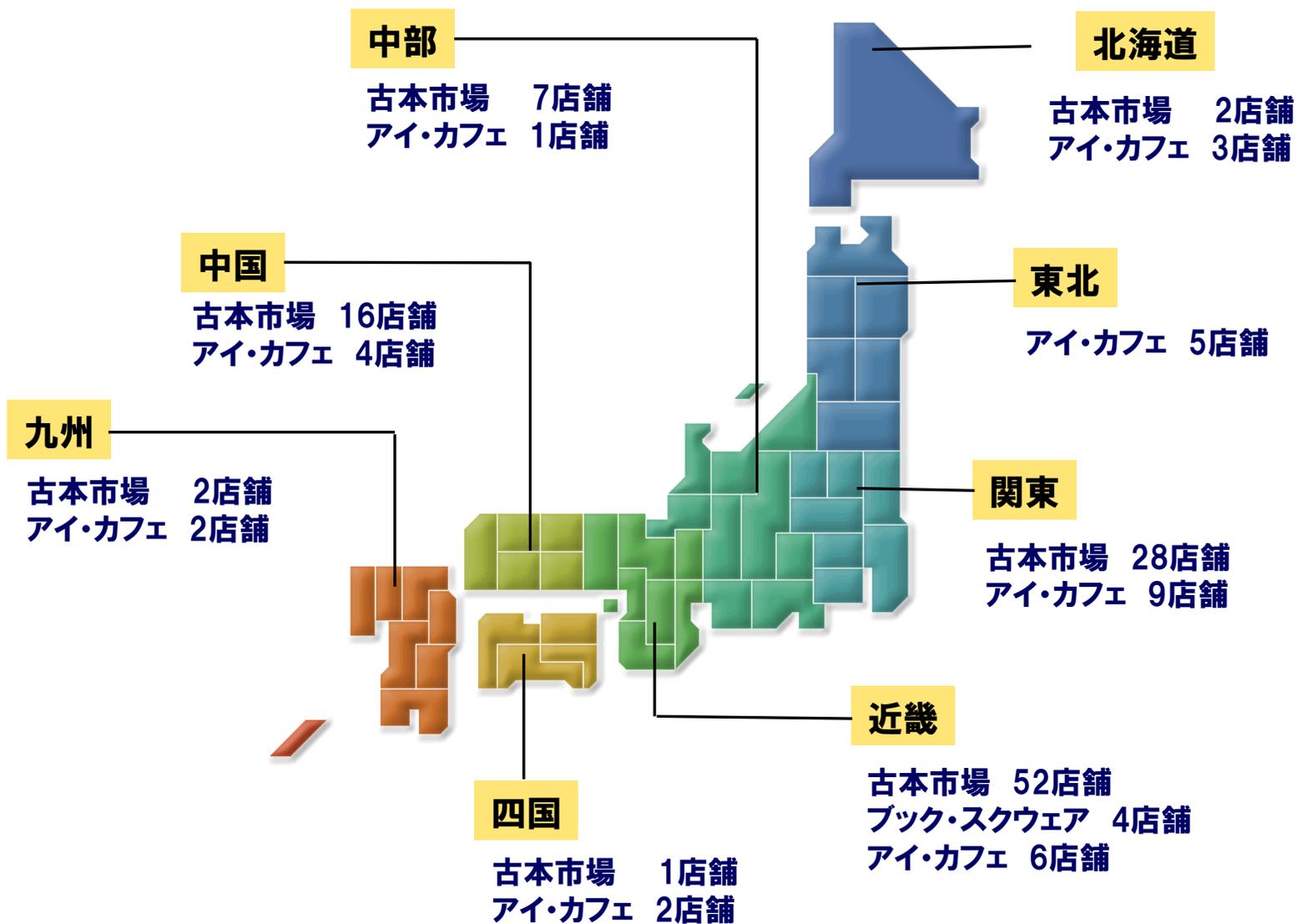
- ① 連結業績に応じた配当の実施(連結配当性向25%以上)
- ② 自己株の機動的な取得による、総株主還元性向の向上
- ③ 将来の事業展開に備えた内部留保の充実

※特別な損益等の特殊要因により税引後当期純利益が大きく変動する場合には、その影響を考慮した配当を実施

## 総株主還元性向の実績と計画

	第15期(実績) 2004/3-2005/2	第16期(実績) 2005/3-2006/2	第17期(実績) 2006/3-2007/2	第18期(実績) 2007/3-2008/2	第19期(実績) 2008/3-2009/2	第20期(予想) 2009/3-2010/2
連結当期純利益	406百万円	160百万円	198百万円	634百万円	138百万円	500百万円
総還元額(①+②)	184百万円	111百万円	112百万円	183百万円	160百万円	未定
配当金(①)	109百万円	111百万円	112百万円	131百万円	130百万円	未定
1株当たり年間配当	2,200円	220円	220円	260円	260円	260円
自社株買い(②)	75百万円	-百万円	-百万円	51百万円	30百万円	未定

# 店舗一覧 (2009年9月30日現在)



# 首都圏近郊店舗のご案内



	東京都	埼玉県	千葉県
みるほんいちば <b>古本市場</b>	7店舗	19店舗	2店舗

※各店舗の詳細につきましては、ホームページをご参照ください。  
<http://www.furu1.net/index.html>

テイツー・グループ・スローガン

# Customer Value Creation

## ～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2010年2月期第2四半期累計の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2009年10月28日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口	経営企画部 片山 靖浩・徐(ソウ)チョンホン
TEL	03-5408-5532
FAX	03-5408-5501
E-mail	ir@tay2.co.jp

<http://www.tay2.co.jp>